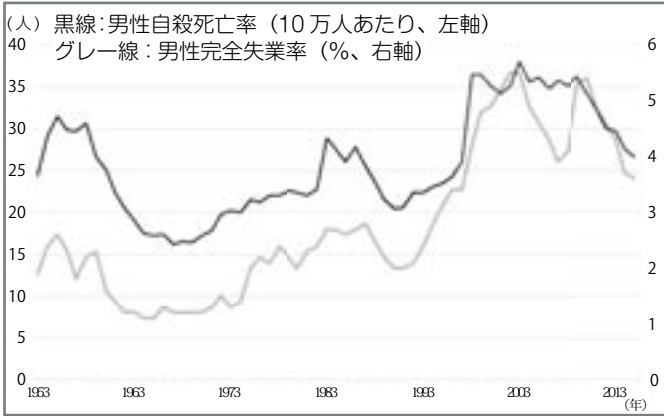


男性の自殺死亡率と失業率 (1953年～2015年)



失業率と自殺者数の関係

◆働きたい人が全て働けるようにする

日本人の平均寿命は女性が約87歳、男性が約81歳と過去最高を更新しました(2016年統計)。人口が増えたのにも関わらず、凶悪犯罪の認知件数は1960年の半数以下。それなのに「将来に不安を感じる」人が69%にも上っています。

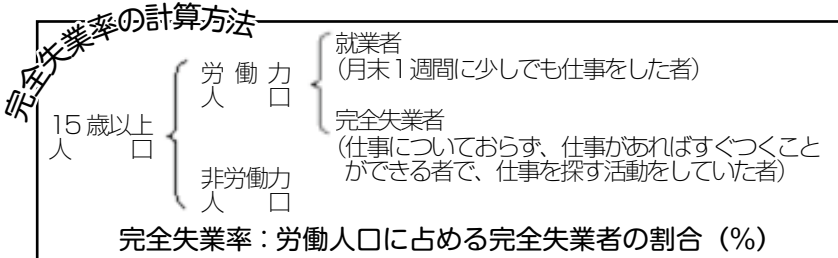
『安心して暮らせる社会』に必要なことを考えてみました。

社会に広がる『不安』を減らそう

働ける、住める、受け入れられる、再出発できる社会を

日本の自殺者は2011年から7年連続で減少していますが、それでも交通事故でなくなった方の四倍。15歳から39歳までの死因で最も多いのが自殺で「先進諸国で、事故死よりも自殺者が多い国は日本だけ」とも言われています。

上記グラフは立命館大学経済学部の松尾匡教授が作成したものです。男性の完全失業率と自殺が非常に関係が深いことが表れています。他にも多くの研究者が失業率と自殺の関係性を指摘しており、経済学者の高橋洋一氏は「失業率を1%減らすことができれば、3,000人程度の自殺者を減らせる」とまで言っています。



左の図は完全失業率の計算方法です。月の最後の1週間に仕事探しをしなかった人は失業者にカウントされません。この人たちは『無業者』と呼ばれています。

2016年の若年(15歳)39歳)無業者は全国で約77万人。(平成29年度版)子供若者白書より)仕事を探さなかったのは「知識・能力に自信がない」「探したが見つからなかった」などです。しかし、長い期間働かないでいると、仕事をすることに

「無業者」への支援拡大を



盛岡市議会議員

いせ 志穂

事務所 〒020-0133 岩手県盛岡市青山3丁目29-4

電話・FAX 019-645-8510

http://ise.nahan.jp/ E-mail:ise@nahan.jp

対してさらに自信がなくなる人もいます。以前は無業者に対する行政の支援はとて少なかつたのですが、最近では本格的な仕事につく前に訓練をするなどの支援策ができませんでした。ただ、訓練を受け入れてくれる働き先はまだ少ないのが現状です。

働く人も働かない人も 権利が守られるように

働き手不足により、政府は高齢者や女性、障がい者などが仕事につくようすすめています。ただし仕事をしない人たちの中には、いわゆる『ブラック企業』で体をこ

いせ志穂の提案

- ・盛岡市は労働者数(自営も含む)の目標を立て、働きたい人を支援する計画を立てる
- ・公園整備や街路清掃などの市の仕事を、職業訓練を行う団体にも優先的に発注する
- ・パート・アルバイトの労働条件向上のために、まず盛岡市が、非常勤職員や指定管理で働く人たちの労働条件を改善する

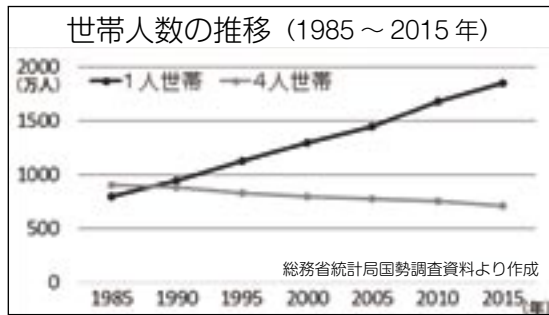
わしたり、職場でいじめにあったりして、会社勤めに拒否感を感じる人たちもいます。「会社に勤めることが正しい」という考え方を強要することがあってはいけな

◆身元保証人がいなくとも困らない

住宅確保困難者のために 公営住宅はあるはずなのに

公営住宅法第一条には「この法律は、国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸すること

により、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。」と、あります。住宅を探す際に保証人が見つ



思います。

また、非正規雇用などの権利を守り、誰でも『使い捨ての労働力』とされるようなことがあってはなりません。

らないと、とても困ります。盛岡市では市営住宅ですら保証人が必要です。おまけに、法人保証人を認めていません。

保証人が見つからなくとも

ひとり暮らし世帯がとも増えています。また、合計特殊出生率(2017年)は1.44人という

◆つまずいても再出発ができる社会を

私達が不安を感じてしまうのは災害や事故、思いもよらない病気や失業などがいつ起きるか解らないからです。社会保障制度の充実と、その適切な運営が行われれば未来はもう少し明るいものになるはず。また、様々な理由から社会に出

- ### いせ志穂の提案
- ・市営住宅の家賃滞納には、保証金や滞納放置をやめるなどの方策をとり、保証人がいなくとも入居できるようにする
 - ・ひとり暮らし高齢者と契約し、入院や施設入所の保証・支援を行う(足立区社会福祉協議会での実施を参考に)

現状を考えれば、今後親密なつきあいができる人数は減っていくと思います。

住居を借りる時以外にも入院や手術、介護施設との契約、就職、奨学金の申請などは保証人を求められます。この様な『いざという時』に保証人問題で困ることのない様、対策を行うべきです。

られなくなってしまったり、活躍の場を失ってしまった人たちに對する就労訓練の実施や身元保証制度を作ること、一度つまずいても再出発できる社会を創りたいと思います。ご意見やご相談など、遠慮なくお寄せください。

非正規雇用で働く人たちにも賃上げを

ここ数年間の人手不足もあり、盛岡市でも、多額ではありませんが職員の給与や一時金を引き上げています。しかし、非常勤職員の給与や指定管理者は低い水準に押さえられたままです。景気のために『デフレ脱却』が必要ですが、そのためには国民の所得が底上げされなければなりません。非正規雇用だからといって賃金を上げないのは間違っています。

この十数年間、コストカットを理由にして地方自治体では非正規雇用や指定管理者制度（公の施設の管理・運営を民間の企業やNPO法人に代行してもらう制度で、盛岡市の場合は文化ホールや体育施設、女性センターなど）をどんどん増やしてきました。しかし、2003年度には20億円を下回っていた財政調整基金（災害など



不慮の事態に取り崩して使う貯金の様なもの）が2016年度には90億円を越えるなど、盛岡市の財政は安定してきています。危機的な状況でないのなら、非正規職員の待遇をすぐに改善すべきです。色々な条件で働く人が増えたこ

介護保険の『卒業』に問題あり！

とによって、民間企業でも非正規で働く人達の労働条件を良くする動きが出ています。N T TやK D D Iでは、非正規で働く人たちのボーナスを引き上げたり正社員に限定していた手当を付けることを決めました。

雇用形態が違ってても、その扱いに差別があつてはいけません。「なかおかしいな」と思ったら、ご一報ください。

介護保険制度

が改正され、要介護度の改善に關わる事業（自立支援介護）の報酬が重視され、成果が上がっている市町村を財政的に優遇する様になりました。『高齢者が元気になる介護保険給付費が減る』という触れ込みで行われた改正ですが、話はそう単純なものではなさそうです。



②『高齢者の自立』という意味が変化してしまっている。

③介護保険が掲げていた『自己選択の理念』が失われるかも。どんなにリハビリをしても機能回復が出来ない場合もあります。

①全ての人が要介護度を維持・改善できるわけではない。

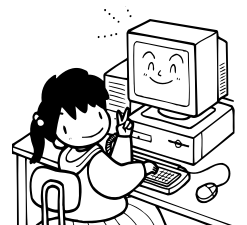
「その時には保険を使って自分らしく暮らそう」という理由で介護保険は作られました。今回の改正によって「要介護度が高い人は自立できていない」という風潮が広まるのは、介護保険の本質から大きくずれることです。

また、私が一番懸念しているのは、自治体間で要介護度の競争を

いせ志穂のホームページをご覧ください

<http://ise.nahan.jp/>

「市民参加はまず情報公開から」と考え活動していますが、なかなか報告が出来ない状況です。ホームページでは、市議会の資料や会議のメモ、視察報告、私が感じたことを公開しています。また、ご意見などはメール・ファックス・電話・郵便などお気軽にお寄せいただければ幸いです。



させるかの様なやり方をしているからです。財政的な特典が欲しい気持ちだが、要介護度の判定を狂わせる危険があります。

以上の理由から私は今回の改正に大きな疑問を持っています。要介護度の認定に疑問を感じた方は調べますので、すぐにご連絡ください。

『子どもも支援』の輪を広げよう

◆離婚後、子どものためにできること

- ・養育費の話し合いをして、きちんと負担しましょう
- ・面会交流について決めましょう(支援する団体があります)
- ・子ども青少年課ではひとり親世帯の相談を受けつけています

成28年度全国ひとり親世帯等調査結果報告』より)。これらの取り決めがないのは「相手と関わりたくない」ことを理由にする人が多く、司法の援助もほとんどないことも原因かと思えます。

私は子どもを社会全体で守り、健全に育ていくべきだと思います。困っている保護者をひとりぼっちにしたいわけではありません。盛岡市は随時、ひとり親の相談を受けつけています。また、司法関係者やOBの方を中心に面会交流支援を実施する団体が活動をはじめています。お困りの方はひとりで悩まずに、ご一報ください。

◆子ども食堂を応援しよう

離婚の際には養育費や面会交流(別居している親と子どもが交流すること)の協議をしなければならぬと法律で決められています(家庭内暴力などの場合は面会交流が行えないこともあります)。

しかし養育費の取り決めをしている母子世帯は約43%(父子世帯約21%)、今も受け取っていないのは約24%(父子世帯約3%)しかありません。面会交流の取り決めをしている母子世帯は約24%、父子世帯では約27%です(『平

私は「子ども食堂は貧困家庭のためのものではない」と考えています。核家族や、必ずしも



食事時間に家にいられない仕事が増えたせいで、少ない人数での食事しか経験したことのない子ども達が増えています。大勢で食べる食事の楽しさを知ったり様々な世代の人たちとの交流は、子ども達の生活を豊かにすると思います。盛岡市でも実施団体が増えています。

ですが、ボランティアや食材不足の所もあります。お手伝いをしてくださる方、食材の提供ができる方はぜひご連絡ください。



秋に上映会を行います！
公式サイト <http://www.sato-eeyan.com/>

チャイルドラインいわてでは、今秋に公開講座としてドキュメンタリー映画『さとにきたらええやん』の上映会を行います。この映画は、大阪市西成区釜ヶ崎で38年間にわたり0歳からおおむね20歳までの子どもを、障がいのあるや国籍の区別なく無料で受け入れている「子ども里」の毎日を描いたもの。まだ日時などは未定ですが、入場者数に制限がありますのでご覧になりたい方はご連絡ください。詳細が決まり次第、お知らせいたします。



ボランティア募集とご相談・情報提供のお願い

【お手伝いください】

いせ志穂事務所と市民会議はボランティアとカンパで運営されています。このニュースを知人に見せてください。ポスティングなどお手伝いいただける方は、ぜひご協力をお願いします。

【ご相談・情報提供は】

市政に関することだけではなく、困りごとがありましたらお気軽にご連絡ください。また、ご意見・ご提言も大歓迎です。お電話、またはメールをいただければ、留守の場合でもこちらからご連絡いたします。